

2020年 5月 子育てワンポイント

テーマ

「友だちとの関わり～ごめんなさいが言える子に～」

1、2歳頃になると、公園や子育て支援センター・児童館などといった“外の世界”へ踏み出していく事でしょう。そこでは、同年代の子どもや年上年下の子どもとの関わりが広がっていきます。

3歳までの子どもは、良いことと悪いことの区別がつきにくく、常に自分のやりたいように行動します。3歳を過ぎた頃から大人の話す内容を理解し、良いことと悪いことの分別がつくようになってきますが、まだまだ自分の気持ちを主張してしまいます。

子ども同士の関わりの中で「こうしたい」「これやりたい」という思いが主張し合い、相手に手を出してしまった…ということがよくあります。そういう時、大人はどういう対応をするとよいでしょう。

例えば…

「同年代の子どもに遊んでいるおもちゃを取られ、相手の子を叩いてしまった時」

- ①「どうしたの？」…何が起こったのか事実の確認をする。
- ②「おもちゃを取られて悔しかったんだね。」…気持ちを理解してあげる。
- ③「今、遊んでいるから返してって言おうね。叩かれたお友だちは痛かったよ。」
…とるべき行動を教え、相手の気持ちを代弁する。
- ④「ごめんなさい。」…うまく言えない時は、大人も一緒に言ってみる。



はじめはうまくいかないこともあるかと思いますが、焦らず、根気よく向き合っていくとよいでしょう。

挨拶と同じように、私達大人も日頃から家庭の中で気持ちを伝えていくと、その姿を子どもが見て自然と学んでいきます。そして、子どもが素直に「ごめんなさい」と言えた時は、優しい言葉で褒めてあげましょう。

「ごめんなさい」は決して悪いことではありません。子どもは子ども同士の関わりの中でコミュニケーションを学んでいきます。友だちと関わることは楽しいことと感じて欲しいですね。

～「ごめんなさい」は、少しの勇気と素直な気持ちと人の気持ちがわかる優しい心～